

「チーム旭、オール旭」でまちづくり



旭市長 米本 弥一郎

昨年7月の市長選挙において、市民の皆さまから信任をいただき、市政を担うこととなりました。これまでに抱いてきた「育ててくれた地域に恩返しをしたい」という思いを實踐し、使命感を持って本市の更なる発展に邁進してまいります。

旭市は、千葉県の北東部に位置し、都心から80km圏にあり、南部は九十九里浜に面し、青い海と緑豊かな大地、温暖な気候に恵まれた暮らしやすいまちです。基幹産業は農業で全国屈指の農業産出額を誇り、首都圏の食糧供給地になっているほか、医療や福祉も充実しています。

最近では、市役所新庁舎の開庁や、多世代交流施設「おひさまテラス」、旭市サッカー場「しおさいスタジアム」がオープンするなど、市のランドマークとも言える拠点が次々と誕生しているところです。

まちづくりについては、市の最上位計画である「第2期旭市総合戦略」に掲げる、地産振興・子宝育成・故郷創出・安心形成といった、4つの重点プロジェクトに基づいて取り組んでいます。農業経営基盤と生産力の強化や、道の駅「季楽里あさひ」と連携した情報発信のほか、若者の移住・定住化、農業後継者の育成、地域包括ケアシステムの充実による高齢者支援など多岐にわたる施策を実施しています。

令和4年度からは、新たな取り組みも展開しているところです。本市においても少子化問題は深刻な状況にあるため「ストッブ少子化大作戦」と題した、結婚から出産、子育て、定住を一連のものとして捉え、さまざまな事業を一体的かつ効果的に組み合わせること、切れ目のない支援を推進します。

また、世界的な製菓メーカーであるノボ・ノルディスクファーマ社と、千葉大学医学部附属病院との包括連携協定に基づき、糖尿病患者の発生抑制および2型糖尿病患者の重症化予防のための共同研究「CCDプロジェクト」を進めています。

今後も、多くの市民参画の機会を設け、対話による開かれた市政運営を行うほか、市議会や多くの関連機関・団体なども連携し「チーム旭、オール旭」で、日本一住みよいまちを目指したいと考えています。

「官民連携による持続可能なまちづくり」「生涯活躍のまち・みらいあさひ」

旭市では、人口減少・少子高齢化の進展に歯止めをかけ、将来にわたり持続可能なまちづくりを行うため、旭市生涯活躍のまち構想を重点戦略として位置づけ、その実現に向けて取り組んできました。

本事業は、最大の地域資源である旭中央病院を核として、その隣接地3.5haの土地に、「安心」「暮らし」「交流」「連携」の機能を併せ持つ拠点を官民連携事業で開発する新たなまちづくりです。平成30年度に事業主体となる民間事業者の公募を実施し、イオンタウン(株)を代表事業者とするグループを選定。本年4月23日に商業施設イオンタウン旭と、公共施設である多世代交流施設おひさまテラスの開業をもって、まちびらきを迎えました。

今後も、商業施設の南側に特別養護老人ホームや移住者向けの住宅の建設を予定しており、みらいあさひを拠点として、さびを拠点として、地域全体に好循環が生まれることが期待されています。施設を造って終わりせず、時代に即した魅力あるまちづくりを継続していきます。



■生涯活躍のまち・みらいあさひ

「あなたの「やりたい」を実現しませんか」「旭市多世代交流施設おひさまテラス」

イオンタウン旭の2階に開業した「おひさまテラス」は、イオンタウン(株)が指定管理者となり、民間事業者ならではのノウハウやアイデアを活かした管理運営を行っています。



■旭市多世代交流施設おひさまテラス

面積約2千2百㎡の館内は、天井が高く開放的な空間で、多様な機能を有する各種レンタルスペースや屋内公園、6千冊を超える本に囲まれた居心地の良いフリースペースがワンフロアに広がっています。

「子育てを通して、まちの人々がつながり、支え合い、共に育む場」を目指して設置した当施設は、自己実現の場として、また、新たな交流と学びを支援するイベントや講座を受講できる場として活気にあふれています。

開設からわずか4か月で14万人を超える来館者を迎え、多世代が交流する賑わい拠点として日々成長を続けています。多様性や個々の可能性の発見を起点とし、年代や属性に関わらない「個育て」に取り組み、将来的なまちの育成につながることを目指します。

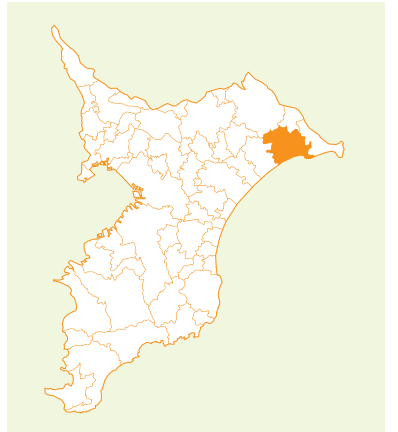
市役所/〒289-2595 千葉県旭市二2132 TEL/0479-62-1212  
ホームページアドレス <https://www.city.asahi.lg.jp>

旭市データ



市章  
旭の頭文字「a」をモチーフに、青色は海を、緑色は豊かな自然を、全体のシルエットは、それらの自然と大地の恵みの中で、健康で元気はつらつ躍動する旭市民と、未来へと飛躍する活力ある旭市の姿を現しています。

人口	63,630人
男性	31,494人
女性	32,136人
世帯	26,958世帯
人口世帯数	2022年9月1日現在



旭市イメージアップキャラクター  
あさビー

「ロケのまち旭」を目指して「あさひロケーションサービス協議会」

本年4月に、「(株)地域活性プランニング」と包括連携協定を締結し、主にロケツーリズムという手法を用いたシティブロモーションの推進をスタートさせました。

7月には、民と官が連携した組織として「あさひロケーションサービス協議会」を設立し、ロケの誘致や撮影支援を関係機関や市民が一緒になることで、より一層協力できる体制を整えました。

ロケの実施に伴う飲食、宿泊などの直接的な経済効果への期待はもちろん、ロケの実績を重ねることで、ロケの聖地を作り、観光客を招き入れ、更には関係人口を増やす取り組みも進めていきます。

また、映画やドラマ、CMなどの撮影に対する協力とロケの誘致を通じて、旭市の魅力と認知度の向上、市民の郷土愛の醸成を高めることも目的としています。

今後、メディアで旭市を目にすることも多くなってくると思いますが、ぜひ「リアル旭」も体感しにお越しください！



■「打ち上げ花火、下から見るか?横から見るか?」記念モニュメント